

施策マネジメントシート(平成29年度の振り返り、総括)

作成日 平成 30 年 6 月 21 日

| | | | | |
|------|----|--------------|-----|--------------------|
| 基本目標 | V | 豊かな心と文化を育むまち | 主管課 | 名称 教育課 課長 杉木 隆司 |
| 施策 | 28 | 生涯スポーツの推進 | 関係課 | |

| 施策の目的 | 対象 | 意図 | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|-------|-----|--------------------|-------|----------------------------|--------------------|
| | ①町民 | ①生涯を通じてスポーツや運動をする。 | 基本事業 | 1 スポーツ意欲の高揚 | スポーツや運動に意欲や関心がない人 |
| | | 2 スポーツ機会の充実 | | スポーツや運動に取り組んでいる人、意欲や関心がある人 | スポーツや運動をする機会を得られる。 |
| | | 3 スポーツ環境の整備 | | スポーツや運動に取り組んでいる人、意欲や関心がある人 | スポーツや運動をする場を確保できる。 |
| | | 4 | | | |
| | | 5 | | | |

| 成果指標 | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|------|----------------|-------------------------|------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| | A | 週1回以上、スポーツや運動をしている町民の割合 | % | 実績値 目標値 | 46.9 47.0 | 46.3 47.0 | 46.7 48.0 | 47.9 49.0 | 52.1 50.0 | 45.5 51.0 |
| B | 体育協会加盟競技団体登録者数 | 人 | 実績値 目標値 | 1,930 1,930 | 1,848 1,930 | 2,012 2,100 | 1,520 2,100 | 1,430 2,100 | 1,418 2,100 | 1,240 2,100 |
| C | 体育施設利用者数 | 人 | 実績値 目標値 | 130,362 135,000 | 137,209 135,000 | 131,180 110,000 | 132,267 135,000 | 116,994 140,000 | 119,086 145,000 | 126,393 150,000 |
| D | | | 実績値 目標値 | | | | | | | |
| E | | | 実績値 目標値 | | | | | | | |
| F | | | 実績値 目標値 | | | | | | | |

指標設定の考え方

A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
町民アンケートにより把握
※あなたはどの程度、運動・スポーツをしていますか。→「ほぼ毎日」、「週に1日以上」と回答した人の割合
運動とは、軽い体操や散歩などの身体活動
スポーツとは、ルールや決まりに基づいて活動する、陸上競技やサッカー、柔道や剣道など
生涯スポーツとは、子どもから高齢者まで生涯にわたって人生の各時期にそれぞれの興味関心や目的に応じて運動やスポーツに親しむこと。競技、レクリエーションとしてあるいは健康体力づくりとして様々な目的や楽しみ方がある。また、するだけでなく観る支える(応援・運営・教える)など様々な関わり方があります。

B) みなかみ町体育協会に加盟する団体のうち、各競技団体(20団体)に所属している会員数であり、数値が変わらずに推移すれば目標が達成できているといえるため成果指標とした。

C) 町内にある屋外と屋内の体育施設(学校体育施設の利用者数も含む)の1年間(4月から3月まで)の利用者数であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。

目標値設定の考え方

A) みなかみ町スポーツ推進計画(計画期間10年間)を平成24年度に策定。国・県の目標値は、それぞれ65%、55%としているが、都市部と比較して施設面での不利な状況を考慮すると、5年間で同水準をめざすことは困難。今後、少子化が急激に進み、スポーツ少年団の維持が困難になりつつあったり、人口減少により、団体競技の継続などが困難となっていることを考えると子どもの実施率は下がることが推測される。ただし、団塊の世代が退職を迎え、時間的な余裕が生まれる人がおり、こういった人々が取り組むことにより実施率は上昇する可能性がある。また、スポーツ吹き矢など新しい軽スポーツを取り入れており、これらは、高齢でも一人でも参加できるスポーツで実施率が高まる可能性はある。

B) 体育協会加盟団体のうち、比較的、誰でも容易に取り組める競技に人気が集中している。しかし、平成25年度から体育協会に加盟していた団体の中には会員数の減や高齢化に伴い休止、廃止したクラブが出てきた事により、目標値の2,100人を維持して行くには難しくなっている。

C) 健康志向の高まりで、個人でも気軽に取り組める軽スポーツなどにより体力の向上や健康維持に努める人が増えつつある。

| | | |
|---------------|---|---|
| 施策のための役割・目標達成 | 1. 町民(事業所、地域、団体)の役割 | 2. 行政(町、県、国)の役割 |
| | ①スポーツや運動の必要性を感じ、講座やイベント、団体・グループ活動に積極的に参加する。 ②スポーツや運動の楽しさを広め、仲間づくりを行うなど、普及啓発に取り組む。 ③指導者となり、さらには後継者を育成する。 | ①スポーツ教室や大会を開催するなど、スポーツや運動機会の提供や契機づけを行う。 ②体育施設の整備と管理運営を行い、スポーツを行うための場を提供する。 ③スポーツや運動を行う人・団体の活動を支援する。 |

| | | |
|-----------|---|---|
| 施策を取り巻く状況 | 1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか? | 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか? |
| | ①少子化が進み、スポーツ少年団の維持が困難になりつつある。 ②人口が減ると、団体競技の継続などが困難となる。 ③スポーツ立国の実現を目指し、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進するスポーツ基本法が平成23年に施行された。この法律に基づき、町では平成25年度より、みなかみ町スポーツ推進計画に沿って推進していく。 ④健康志向の高まりにより、ウォーキングやランニングを行う人が増加傾向。 ⑤スポーツの振興、スポーツに関する施策の総合的な推進を図ることを目的として、2015年10月1日 文部科学省にスポーツ庁が設置された。 | ①老朽化の進む施設が多くあり、整備に関する要望に応え切れていない。(修繕や設備の機能向上など) ②施設予約については、観光目的の利用と町民の利用が重なることがあり、町民利用に制約が生じている。観光目的の利用予約は特に夏休みに集中している。観光専用の施設も必要ではないかという声もある。 町管理の施設の本体化や利用が少ない施設の見直しなどの要望がある。 |

| | | | | | |
|----|----|-----------|-----|-------|-----|
| 施策 | 28 | 生涯スポーツの推進 | 主管課 | 名称 | 教育課 |
| | | | 課長 | 杉木 隆司 | |

| | | 実績比較 | 背景・要因 |
|---------------------|---|---|---|
| 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察 | ① 時系列比較 | <input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。 | ①「週に1回以上運動・スポーツをしている町民の割合」は、平成27年度が近年では一番高く52.1%と半数を超えたが、平成28年度は45.5%、平成29年度は44.9%と割合が減少した。平成28年度と平成29年度を比較すると、年代別では50代の割合が8.9ポイント減少し、また、地区別では水上地区が6.6ポイント減少している。 ②体育協会の登録者数は、平成25年度の2,012人をピークに毎年減少の方向にあり、平成29年度では1,240人とピーク時の6割程に減少している。 ③体育施設の利用者数は、ここ2年連続で前年度を上回っており、平成29年度は126,393人となり、前年より7,300人増加した。この内半分以上(3,900人)は、町外の利用者である。 |
| | ② 他団体との比較 | <input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。 | ①国のデータと比較すると、週1回以上運動・スポーツをしている人の割合(全体)は、平成29年度比較で、国51.5%に対して町は44.9%と下回っており、各々の年代別で検証しても全ての年代で国の数値を下回っている。県の数値は最新のものが無いが、検証可能な県と比べても低い状況にある。特に青年層が大きく下回っている。 ・みなかみ町 全体44.9%、青年38.8%、壮年36.2%、高齢者50.9% (平成29年度町民アンケート結果) ・群馬県 全体47.2%、青年51.8%、壮年29.5%、高齢者38.6% ・国 全体51.5%、青年50.0%、壮年44.4%、高齢者64.9% ※青年=20~29歳、壮年=30~59歳、高齢者=60歳以上 ※群馬県の数値は、ぐんまスポーツプラン2011(平成22年度運動・スポーツに関する意識調査による) ※国の数値は、スポーツ庁「平成29年度スポーツの実施状況等に関する世論調査」による ②沼田市体育協会と比較すると、前年よりともに減少しているが、みなかみ町の方が減少率が大きい。 みなかみ町 (H28)20団体・1,418人→(H29)19団体・1,240人(178人減・前年比87.4%) 沼田市 (H28)30団体・6,985人→(H29)31団体・6,661人(324人減・前年比95.4%) ※沼田市体育協会は競技団体の他に、レクリエーション団体、中体連、スポ少を含む人数 ※利根沼田社会教育要覧の各市町村社会教育要覧による ③年度別の体育施設利用者数を昭和村と比較すると、ともに利用者は増加傾向である。増加率で見ると若干みなかみ町が高い状況である。 みなかみ町 (H28)119,086人→(H29)126,393人(7,307人増・前年比106.1%) 昭和村 (H28)73,021人→(H29)75,253人(2,232人増・前年比103.1%) |
| | ③ 目標の達成状況 | <input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。 | ①「週に1回以上運動・スポーツをしている町民の割合」は、平成29年度44.9%と目標値52%には達しなかった。年代別で見ると、60歳以上では50%を超えており、青年・壮年層が30~40%台に止まり実施率を下げている。今回の計画見直しにおいても、この年代は「忙しく時間がとれない」という理由が62%を占めており、今後この年代への施策展開が重要と考えます。 ②体育協会加盟団体は、人口減少と高齢化の影響で1団体が休会となり、会員数も1,240人となり目標値2,100人には達しなかった。 ③平成29年度の体育施設利用者数は126,393人と前年より約7,300人増加したが、目標値の15万人は下回った。協会員が減少する中で体育施設利用者数の増加は、団体として会に加入せず個人を中心とする小さなサークル等で活動する傾向にあること、また温泉地として宿泊誘致を行うなど町外者の利用が増えたことが考えられる。 |
| 成果実績に対する取り組みの総括 | ①住民が活発にスポーツに親しみ、スポーツを通じて住民相互の和やかな人間関係の育成とコミュニケーションや連帯感の向上により、いきいきとした笑顔あふれるみなかみ町を創造することを基本理念に、みなかみ町スポーツ推進計画に沿って事業を推進した。また、平成29年度が中間年に当たることから今までの結果を検証し、今後5年間の計画見直しを行い今後の方向性を確認した。 ②緑地広場の人工芝ホッケー場は、ホッケー競技の他にグラウンドゴルフ協会の大会開催等で多くの競技者に活用されている。 ③平成28年度にナイター整備が終了した月夜野総合公園「人工芝サッカー場」は、星・夜多くの団体に活用されている。 ④地域スポーツを活性化するためスポーツ推進委員と連携し、各地区で軽スポーツの普及を目的とした教室を開催した。また、月夜野体育協会は独自に講習会や大会、各地区体育委員会では自主イベントを開催し地域スポーツの普及に取り組んでいる。 ⑤月夜野中学校グラウンドに照明灯7本を設置し、ナイターでの利用が可能となった。今後のスポーツ普及に繋がると考えられる。 ⑥老朽化が進む体育施設の計画的な修繕を進め、今年度は名胡桃体育館の屋根修繕を行った。 ⑦町民にスポーツを推進するため、水上地区ではあるけあるけ大会、月夜野地区ではノルディックウォーク講習会、新治地区ではたくみの里ウォークラリー(雨天中止)を実施した。 ⑧活用が進んでいないトレーニング機器の普及を目的とした講習会を実施し、多くの町民の参加を得た。 | | |

| | | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み(案) |
|---------------|---|-----------|---|---|
| 今後の課題と取り組み(案) | 1 | スポーツ意欲の高揚 | ①スポーツ推進計画の目標「週に1回以上運動・スポーツをしている町民の割合を55%以上とする」の早期達成のため運動に意欲や関心がない人に身体を動かす楽しさや必要性を周知し、既に取り組んでいる人にはより積極的な活動を推進する必要がある。 ②地域のスポーツ活動を活性化するため、スポーツを推進する地域組織の育成が急務である。 ③幼児期から少年期は、今後のスポーツライフの基盤となることから、子どもたちが身近な地域でスポーツに触れる環境と機会を増やす必要がある。 | ①平成29年度に見直しを行った「みなかみ町スポーツ推進計画」に則り、スポーツや運動・健康づくり等に関する教室及び講演会を実施する。 ②町教委・スポーツ推進委員を中心に地区体育委員と協力し地域スポーツを推進する組織化を進める。 ③スポーツ競技への意欲を引き上げるため、継続して競技スポーツ優秀者を顕彰する。 |
| | 2 | スポーツ機会の充実 | ①子供から高齢者まで幅広く多様化するニーズに応じ、誰もが生涯を通じ健康な生活を送れるよう、継続してスポーツに親しめる機会の提供が必要である。 ②様々な競技の選手や指導者の確保・育成を支援し、スポーツ教室の維持・活性化を図ることが必要である。 ③スポーツの普及において体育協会の担う役割は大きく、協会の活性化は重要である。 | ①各地区から選出された体育委員やスポーツ推進委員及び体育協会と連携しながら、誰もが気軽に取り組める軽スポーツ教室や各種大会を開催する。 ②みなかみ源流大学と連携を図り、科学的分野からスポーツを考え、競技者の支援を行う。 ③体育協会加盟団体の活動支援、並びに加入促進につながる啓発活動を継続する。 ④2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けたスポーツ・運動への関心機運を利用し、国・県の施策を参考に自らが体を動かすスポーツ施策を行う。 |
| | 3 | スポーツ環境の整備 | ①町民誰もが身近な地域で、安全かつ継続的にスポーツが行えるよう、各体育施設の適切な維持管理を進める必要がある。 ②町民の多様なニーズに対応するため施設整備や備品等の更新を行い、利便性の向上を図りながら、施設の有効利用を促進する必要がある。 | ①みなかみ町体育施設整備計画に基づき緊急性を勘案し、施設の整備を進める。 ②水銀灯の製造中止を鑑み、体育施設全般のLED化を含めた修繕計画を策定する。 ③B&G海洋センターの施設改修を進める。 ④各地区で軽スポーツやトレーニングが安全・手軽に行えるよう用具・機器を計画的に整える。 |

28_生涯スポーツの推進

平成 29 年 8 月 31 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|--------|-------------|-----------|---|----|-------|--|---|---------------------|--------|-------------|----|---|
| 事務事業 | 000001 | スポーツ推進委員会事業 | | | | | | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,847,166 円 | | |
| 施策体系 | 施策 | 28 | 生涯スポーツの推進 | | | | 町におけるスポーツの推進に係る体制の整備を図るため、社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を有し、熱意と能力を有する者の中から、スポーツ推進委員を委嘱し、委嘱した町スポーツ推進委員会の事務局事業 | 地域スポーツ・生涯スポーツ振興のために、推進委員会議、県内・外の研修会等積極的な参加を促し、委員間の意思統一を図った。スポーツ推進計画の見直しに積極的に携わってもらい、自らの立ち位置や町の進むべき方向と一緒に検討した。 | 事業実績 | | | | |
| | 基本事業 | 01 | スポーツ意欲の高揚 | | | | | | 活動回数 | | | | |
| 根拠 | 無 | 組織 | 教育 | 課 | 課長 | 杉木 隆司 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 平成28年度 | 平成29年度 | 単位 | | |
| 事業期間 | 継続事業 | 年間 | 会計 | 1 | 款 | 10 | 項 | 6 | 目 | 1 | 34 | 35 | 回 |
| 会議において委員が積極的に意見や案が出て来ないことが多い。委員が出した意見や案を積極的に採用し実行し、委員が積極的に活動できる体制整備を行っていく必要がある。 | | | | | | | 各地域の体育委員等と協力し、地域スポーツ普及の先導役として、活動できる体制を整える。 | | | | | | |

平成 29 年 8 月 8 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|--------|---------------|-----------|---|----|-------|---|--------------|---------------------|--------|-----------|---|---|
| 事務事業 | 000002 | スポーツ推進審議会運営事業 | | | | | | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 209,554 円 | | |
| 施策体系 | 施策 | 28 | 生涯スポーツの推進 | | | | ・みなかみ町教育委員会の諮問に応じて、スポーツの推進に関する様々な問題や課題などを調査・審議して、教育委員会に建議する組織を運営する。今年度は審議案件が無かったため会議開催は行わなかった。 ・直接的ではないが、スポーツ推進計画の中間見直し年であったため、計画の見直しを行った。 | 会議の開催回数 | 事業実績 | | | | |
| | 基本事業 | 01 | スポーツ意欲の高揚 | | | | | | 活動回数 | | | | |
| 根拠 | 無 | 組織 | 教育 | 課 | 課長 | 杉木 隆司 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 平成28年度 | 平成29年度 | 単位 | | |
| 事業期間 | 継続事業 | 年間 | 会計 | 1 | 款 | 10 | 項 | 6 | 目 | 1 | 0 | 0 | 回 |
| 課題なし | | | | | | | | | | | | | |

平成 29 年 8 月 8 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|--------|------------|-----------|---|----|-------|--|--------------|---------------------|--------|-------------|----|----|
| 事務事業 | 000001 | 体育協会活動支援事業 | | | | | | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,291,000 円 | | |
| 施策体系 | 施策 | 28 | 生涯スポーツの推進 | | | | 町民の体力の向上と親善・交流および社会体育の振興を図ることを目的としている任意団体の運営を事務局として支援する。体育協会登録会員は登録競技団体・スポーツ少年団。 | 大会・教室等の事業数 | 事業実績 | | | | |
| | 基本事業 | 02 | スポーツ機会の充実 | | | | | | 活動回数 | | | | |
| 根拠 | 無 | 組織 | 教育 | 課 | 課長 | 杉木 隆司 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 平成28年度 | 平成29年度 | 単位 | | |
| 事業期間 | 継続事業 | 年間 | 会計 | 1 | 款 | 10 | 項 | 6 | 目 | 1 | 85 | 74 | 事業 |
| 課題なし | | | | | | | | | | | | | |

平成 29 年 8 月 24 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|--------|---------------|-----------|---|----|-------|--|---|---------------------|--------|-----------|-----|---|
| 事務事業 | 000002 | スポーツ少年団活動支援事業 | | | | | | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 450,000 円 | | |
| 施策体系 | 施策 | 28 | 生涯スポーツの推進 | | | | みなかみ町スポーツ少年団事務局業務 また加盟する各スポーツ少年団の活動支援業務 | 群馬県スポーツ少年団本部が実施する指導者研修会を広く周知・参加してもらい、町スポーツ少年団の活発化を強化した。 | 事業実績 | | | | |
| | 基本事業 | 02 | スポーツ機会の充実 | | | | | | 各スポーツ少年団参加児童数 | | | | |
| 根拠 | 無 | 組織 | 教育 | 課 | 課長 | 杉木 隆司 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 平成28年度 | 平成29年度 | 単位 | | |
| 事業期間 | 継続事業 | 年間 | 会計 | 1 | 款 | 10 | 項 | 6 | 目 | 1 | 438 | 426 | 人 |
| スポーツ少年団に加盟する各団体によって、加盟する意図が異なる。そのような事から全体としての活動が限られてしまっているのが現状である。学童の育成を行う上で町本部が存在する有効性を改めて周知し、全体の活動の活発化を模索する必要があるように思える。 | | | | | | | 町独自の研修会やイベントを開催し、指導者同士のつながり、団員同士のつながりを作っていくたい。 | | | | | | |

28_生涯スポーツの推進

平成 29 年 8 月 8 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

| | | | | | | | | | | | |
|------|--------|--------------|-----------|---|----------|--|--|----------|--------------|----------|---|
| 事務事業 | 000003 | 体育振興費補助金交付事業 | | | | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,546,000 円 | | |
| 施策体系 | 施策 | 28 | 生涯スポーツの推進 | | | 社会体育の振興を図る事業を実施する団体等に対し、予算の範囲内で事業実施に要する経費の一部を補助金により交付する。 | 水上・新治地区では地区選出の体育委員に事業の内容を紹介し制度の活用を依頼。月夜野地区では体協旧支部に今までどおり事業を継続してもらうことを依頼。 | 事業実績 | | | |
| | 基本事業 | 02 | スポーツ機会の充実 | | | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 申請(交付)件数 | |
| 根拠 | 有 | 組織 | 教育 | 課 | 課長 | 事業を実施できる団体等の育成。 | 新治地区では新治体育振興会(仮)が設立予定になっている。この事業を水上地区に紹介し、同様に設立に繋げていきたい。 | 平成28年度 | 平成29年度 | 単位 | |
| 事業期間 | 継続事業 | 年間 | 会計 | 1 | 款 | | | 10 | 項 | 6 | 目 |
| | | | | | 生涯学習推進 G | | | 3 | 3 | 件 | |

平成 29 年 8 月 31 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

| | | | | | | | | | | | |
|------|--------|----------|-----------|---|----------|----------------------------------|--|----------|--------------|------------|---|
| 事務事業 | 000004 | スポーツ教室事業 | | | | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 195,800 円 | | |
| 施策体系 | 施策 | 28 | 生涯スポーツの推進 | | | スポーツ機会の充実に資するためスポーツ教室を開催する。 | 例年チラシを送っている団体に加えて、今回は老人クラブにチラシを配った。結果老人クラブの参加者が増えたことにより、参加人数も昨年よりは増加した。 | 事業実績 | | | |
| | 基本事業 | 02 | スポーツ機会の充実 | | | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | スポーツ教室開催回数 | |
| 根拠 | 無 | 組織 | 教育 | 課 | 課長 | 参加人数が伸び悩んでいる上、毎年参加する人はほぼ決まってしまう。 | 反省会を実施した結果、年齢や年代をしぼりターゲットを限定した方がいいという意見が多かった。また、公民館などを会場としてこちらから地域に出向くという意見も出たので、来年度はそれらの意見を実施できるかどうか検討し、実施していく。 | 平成28年度 | 平成29年度 | 単位 | |
| 事業期間 | 継続事業 | 年間 | 会計 | 1 | 款 | | | 10 | 項 | 6 | 目 |
| | | | | | 生涯学習推進 G | | | 1 | 4 | 回 | |

平成 29 年 8 月 31 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

| | | | | | | | | | | | |
|------|--------|---------|-----------|---|----------|---|--|----------|--------------|---------|---|
| 事務事業 | 000005 | 町民体育祭事業 | | | | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,522,621 円 | | |
| 施策体系 | 施策 | 28 | 生涯スポーツの推進 | | | 町民相互の親睦と融和を深め、町民の体力向上と健康増進を図る為の町民体育祭実施 | 水上・新治地区の各区長から選出された体育委員を中心に各地区の選手選考・運営について依頼した。 | 事業実績 | | | |
| | 基本事業 | 02 | スポーツ機会の充実 | | | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 会議等開催回数 | |
| 根拠 | 無 | 組織 | 教育 | 課 | 課長 | かねてより課題とされていた各地区におけるスポーツ推進体制の相違について、スポーツ推進計画において統一化が図られることとなり、今後は町民体育祭への参加体制も含め地域活動の推進をしていくことが必要になってくる。 | 各地区体育委員の組織強化 | 平成28年度 | 平成29年度 | 単位 | |
| 事業期間 | 継続事業 | 年間 | 会計 | 1 | 款 | | | 10 | 項 | 6 | 目 |
| | | | | | 生涯学習推進 G | | | 5 | 5 | 回 | |

平成 30 年 6 月 26 日作成 (平成 29 年 8 月 24 日更新)

| | | | | | | | | | | | |
|------|--------|---------|-----------|---|----------|---|--|----------|--------------|-----------|---|
| 事務事業 | 000006 | プール開放事業 | | | | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,440,744 円 | | |
| 施策体系 | 施策 | 28 | 生涯スポーツの推進 | | | 毎年、学校等の夏休み期間中に新治B&G海洋センタープール及び桃野小学校のプールを開放し、安全で安心して水に親しむ場所を提供。 | 平成28年に開放できなかった桃野小学校のプール開放が今年度は実施でき、多くの利用者があった。 | 事業実績 | | | |
| | 基本事業 | 02 | スポーツ機会の充実 | | | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 利用者数・開放日数 | |
| 根拠 | 無 | 組織 | 教育 | 課 | 課長 | 沼田市民プール、B&G海洋センター、桃小プール開放事業の連携を図り、利用者の利便向上を図る。また、B&G海洋センタープールの老朽化が進んでいるため今後の方針を検討する必要がある。 | 今後も、B&G並びに桃小プール開放を実施する。 | 平成28年度 | 平成29年度 | 単位 | |
| 事業期間 | 継続事業 | 年間 | 会計 | 1 | 款 | | | 10 | 項 | 6 | 目 |
| | | | | | 生涯学習推進 G | | | 1,202・47 | 1,901・63 | 人・日 | |

28_生涯スポーツの推進

平成 30 年 6 月 26 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

| | | | | | | | | | | | |
|------|--------|-------------|-----------|---|-------|--|---------------------|--------|-------------|----|---|
| 事務事業 | 000001 | 総合体育館管理運営事業 | | | | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,445,419 円 | | |
| 施策体系 | 施策 | 28 | 生涯スポーツの推進 | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 事業実績 | | | |
| | 基本事業 | 03 | スポーツ環境の整備 | | | | | 施設利用者数 | | | |
| 根拠 | 無 | 組織 | 教育 | 課 | 課長 | 月夜野地区体育施設のスポーツ用具が老朽化しているため買い換えなどを進める必要がある。また、臨時職員5名体制であるが勤務は1名なので事務室内での事務しかできない。 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 単位 | |
| 事業期間 | 継続事業 | 年間 | 会計 | 1 | 款 | | | 10 | 項 | 6 | 目 |
| | | | | | 杉木 隆司 | | | 21,641 | 19,617 | 人 | |

平成 30 年 6 月 26 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

| | | | | | | | | | | | |
|------|--------|---------------|-----------|---|-------|--------------------------|--|--------|-----------|----|---|
| 事務事業 | 000002 | 水上社会体育館管理運営事業 | | | | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 188,680 円 | | |
| 施策体系 | 施策 | 28 | 生涯スポーツの推進 | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 事業実績 | | | |
| | 基本事業 | 03 | スポーツ環境の整備 | | | | | 施設利用者数 | | | |
| 根拠 | 無 | 組織 | 教育 | 課 | 課長 | 耐震調査での報告書について協議し、改修工事の検討 | 水上地区の体育施設の拠点なので、耐震改修について関係部署と連携し、方向性を決める必要がある。 | 平成28年度 | 平成29年度 | 単位 | |
| 事業期間 | 継続事業 | 年間 | 会計 | 1 | 款 | | | 10 | 項 | 6 | 目 |
| | | | | | 杉木 隆司 | | | 12,715 | 14,314 | 人 | |

平成 30 年 6 月 26 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

| | | | | | | | | | | | |
|------|--------|-------------------|-----------|---|-------|---|---|--------|-------------|----|---|
| 事務事業 | 000003 | 新治B&G海洋センター管理運営事業 | | | | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,781,973 円 | | |
| 施策体系 | 施策 | 28 | 生涯スポーツの推進 | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 事業実績 | | | |
| | 基本事業 | 03 | スポーツ環境の整備 | | | | | 施設利用者数 | | | |
| 根拠 | 無 | 組織 | 教育 | 課 | 課長 | 海洋センターならではの取り組みとして、水を通じた町民の健康増進支援、子供たちの学習や体験の支援といった事があげられるが、それを行うためには専属の育成士がおらず、また過去に育成士を取得した人材が有るものの、配属されてしまっている。また、海洋センターのプールが屋外プールであり夏以外には使用できないことも有効な役割を果たせない一因だと思われる。ただしそれらを改善するには莫大な費用と人員を要することから現状の施設でいかに独自の取り組みを行うていくかを模索する必要がある。 | 施設の老朽化と一部耐震改修の必要性がある箇所の修繕を計画する必要がある。また、アリーナ照明のLED化も合わせて実施する必要がある。 | 平成28年度 | 平成29年度 | 単位 | |
| 事業期間 | 継続事業 | 年間 | 会計 | 1 | 款 | | | 10 | 項 | 6 | 目 |
| | | | | | 杉木 隆司 | | | 12,104 | 9,741 | 人 | |

平成 30 年 6 月 26 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

| | | | | | | | | | | | |
|------|--------|------------|-----------|---|-------|--|--|---------|--------------|----|---|
| 事務事業 | 000004 | 体育施設管理運営事業 | | | | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 15,963,478 円 | | |
| 施策体系 | 施策 | 28 | 生涯スポーツの推進 | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 事業実績 | | | |
| | 基本事業 | 03 | スポーツ環境の整備 | | | | | 施設利用者数 | | | |
| 根拠 | 無 | 組織 | 教育 | 課 | 課長 | 緑地広場ホッケー場、北部グラウンド、南部グラウンド、大中島運動公園テニスコート、月夜野総合体育館、名胡桃体育館、南部体育館、北部体育館、月夜野弓道場、大穴多目的広場、湯原多目的広場、水上社会体育館、新治武道場、入須川社会体育館、新治B&G海洋センター、新治中央運動公園(野球場・多目的広場・ゲートボール場・テニスコート)等の社会体育施設の維持管理を行う事業 | 照明器具の水銀灯が2020年で国内製造禁止。輸入禁止になることから順次LED化を進めない間に合わなくなるため順番を決めて改修を計画する。 | 平成28年度 | 平成29年度 | 単位 | |
| 事業期間 | 継続事業 | 年間 | 会計 | 1 | 款 | | | 10 | 項 | 6 | 目 |
| | | | | | 杉木 隆司 | 関係者への説明・理解 | | 119,086 | 80,820 | 人 | |

28_生涯スポーツの推進

平成 29 年 8 月 17 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

| | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|--------|-------------|------|---|----|--|----------|-----------------------------------|--------------|--------------------------|-------------|--------|----|
| 事務事業 | | 000006 | 大中島公園管理運営事業 | | | | ① 事務事業の内容 | | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | | 事業費 | 1,070,370 円 | | |
| 施策体系 | 施策 | 28 | 生涯スポーツの推進 | | | | 大中島公園内におけるテニスコートなどの施設の維持、保全管理についての事業である。 | | | | 事業実績 | | | |
| | 基本事業 | 03 | スポーツ環境の整備 | | | | | | | | 施設維持管理上の不具合・トラブル発生(対処)件数 | | | |
| 根拠 | | 有 | 組織 | 地域整備 | 課 | 課長 | 古川 文雄 | ②事務事業の課題 | | ④今後の方針・課題解決策 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 単位 |
| 事業期間 | | 継続事業 | | 会計 | 1 | 款 | 8 | 項 | 4 | 目 | 4 | 2 | 1 | 件 |
| | | | | 都市計画 | | G | 課題なし | | 都市公園の維持修繕基準が法令化されたため、町の管理方法を確立する。 | | | | | |

平成 29 年 8 月 17 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

| | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|--------|-------------|------|---|----|---|----------|-----------------------------------|--------------|--------------------------|-----------|--------|----|
| 事務事業 | | 000007 | 湯桧曾公園管理運営事業 | | | | ① 事務事業の内容 | | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | | 事業費 | 834,777 円 | | |
| 施策体系 | 施策 | 28 | 生涯スポーツの推進 | | | | 湯桧曾公園内における多目的広場やテニスコート及びトイレなどの施設の維持、保全管理についての事業である。 指定管理者:ゆびそ塾 | | | | 事業実績 | | | |
| | 基本事業 | 03 | スポーツ環境の整備 | | | | | | | | 施設維持管理上の不具合・トラブル発生(対処)件数 | | | |
| 根拠 | | 有 | 組織 | 地域整備 | 課 | 課長 | 古川 文雄 | ②事務事業の課題 | | ④今後の方針・課題解決策 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 単位 |
| 事業期間 | | 継続事業 | | 会計 | 1 | 款 | 8 | 項 | 4 | 目 | 4 | 3 | 3 | 件 |
| | | | | 都市計画 | | G | 地元の奉仕活動としての管理は見込なくなっているため、適正な予算措置が必要。 施設の老朽化が進んでいる(テニスコート) | | 都市公園の維持修繕基準が法令化されたため、町の管理方法を確立する。 | | | | | |

平成 29 年 8 月 17 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

| | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|--------|--------------|------|---|----|--|----------|-----------------------------------|--------------|--------------------------|-----------|--------|----|
| 事務事業 | | 000008 | 寺間運動公園管理運営事業 | | | | ① 事務事業の内容 | | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | | 事業費 | 972,000 円 | | |
| 施策体系 | 施策 | 28 | 生涯スポーツの推進 | | | | 公園内における野球場・サッカー場及びトイレなどの施設の維持、保全管理についての事業である。 指定管理者:スノーアライアンス | | | | 事業実績 | | | |
| | 基本事業 | 03 | スポーツ環境の整備 | | | | | | | | 施設維持管理上の不具合・トラブル発生(対処)件数 | | | |
| 根拠 | | 有 | 組織 | 地域整備 | 課 | 課長 | 古川 文雄 | ②事務事業の課題 | | ④今後の方針・課題解決策 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 単位 |
| 事業期間 | | 継続事業 | | 会計 | 1 | 款 | 8 | 項 | 4 | 目 | 4 | 0 | 0 | 件 |
| | | | | 都市計画 | | G | 指定管理者より、野球場・サッカー場の料金・予約方法の変更について協議を投げかけられている。 | | 都市公園の維持修繕基準が法令化されたため、町の管理方法を確立する。 | | | | | |

平成 29 年 8 月 17 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

| | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|--------|------------|------|---|----|---|----------|-----------------------------------|--------------|--------------------------|-----------|--------|----|
| 事務事業 | | 000009 | 総合公園管理運営事業 | | | | ① 事務事業の内容 | | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | | 事業費 | 310,932 円 | | |
| 施策体系 | 施策 | 28 | 生涯スポーツの推進 | | | | 総合公園施設(バラ園・緑地広場など)の維持、保全管理についての事業である。 | | | | 事業実績 | | | |
| | 基本事業 | 03 | スポーツ環境の整備 | | | | | | | | 施設維持管理上の不具合・トラブル発生(対処)件数 | | | |
| 根拠 | | 有 | 組織 | 地域整備 | 課 | 課長 | 古川 文雄 | ②事務事業の課題 | | ④今後の方針・課題解決策 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 単位 |
| 事業期間 | | 継続事業 | | 会計 | 1 | 款 | 8 | 項 | 4 | 目 | 4 | 0 | 3 | 件 |
| | | | | 都市計画 | | G | フラワーガーデン(バラ園)の植栽は、設置後まもなく管理ができなくなり、除草作業のみの管理となっており、駐車場化を検討している。 | | 都市公園の維持修繕基準が法令化されたため、町の管理方法を確立する。 | | | | | |

28_生涯スポーツの推進

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

| | | | | | | | | |
|------|--------|---------------|----------------|---|--------------------------|--------|--------------|----|
| 事務事業 | 000012 | グラウンドゴルフ場整備事業 | | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 10,236,000 円 | |
| 施策体系 | 施策 | 28 | 生涯スポーツの推進 | グラウンドゴルフ場を整備する。 (H28:教育課→H29:総務課へ移動名称変更) | 沼田土木事務所との協議が H30.1終了。 | 事業実績 | | |
| | 基本事業 | 03 | スポーツ環境の整備 | | | 整備箇所数 | | |
| 根拠 | 無 | 組織 | 総務課 消防・防災 G | 課長 | 原澤 志利 | 平成28年度 | 平成29年度 | 単位 |
| 事業期間 | 期間限定 | 会計 | 1 | 款 | 10 | 項 | 6 | 目 |
| | H | ～ | 年間 | | | | | |
| | | | | | | 0 | 1 | 箇所 |
| | | | | 河川占有地あり沼田土木事務所との協議が必要。 | 平成30年中に完成させる。 | | | |

平成 29 年 8 月 8 日作成 (平成 30 年 6 月 26 日更新)

| | | | | | | | | |
|------|--------|------------------|-----------------|-----------------------------|---------------------|-----------------------|--------------|------|
| 事務事業 | 000013 | 月夜野中学校ナイター設備設置事業 | | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 53,416,800 円 | |
| 施策体系 | 施策 | 28 | 生涯スポーツの推進 | 月夜野中学校のグラウンドにナイター設備を設置する事業。 | | 事業実績 | | |
| | 基本事業 | 03 | スポーツ環境の整備 | | | 整備完了件数 (整備予定照明灯本数) | | |
| 根拠 | 無 | 組織 | 教育課 生涯学習推進 G | 課長 | 杉木 隆司 | 平成28年度 | 平成29年度 | 単位 |
| 事業期間 | 期間限定 | 会計 | 1 | 款 | 10 | 項 | 6 | 目 |
| | H | 28 | ～ | 29 | 年間 | | | |
| | | | | | | 7 | 7 | 件(本) |
| | | | | 課題なし | | | | |

平成 29 年 8 月 8 日作成 (平成 30 年 6 月 26 日更新)

| | | | | | | | | |
|------|--------|--------------|-----------------|--|---------------------|--------|--------------|----|
| 事務事業 | 000014 | 名胡桃体育館施設改修事業 | | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 13,370,400 円 | |
| 施策体系 | 施策 | 28 | 生涯スポーツの推進 | 老朽化による雨漏りの工事。屋根全体の修繕 | | 事業実績 | | |
| | 基本事業 | 03 | スポーツ環境の整備 | | | 改修施設数 | | |
| 根拠 | 無 | 組織 | 教育課 生涯学習推進 G | 課長 | 杉木 隆司 | 平成28年度 | 平成29年度 | 単位 |
| 事業期間 | 期間限定 | 会計 | 1 | 款 | 10 | 項 | 6 | 目 |
| | H | 28 | ～ | 29 | 年間 | | | |
| | | | | | | - | 1 | 箇所 |
| | | | | 昭和54年に建設され使用していたが、年々利用者が減少している。老朽が進む中での継続利用の検討が必要。 | | | | |

平成 29 年 8 月 17 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

| | | | | | | | | |
|------|--------|--------------------|----------------|--|---|--------|--------------|----|
| 事務事業 | 000015 | 月夜野総合グラウンドトイレ等整備事業 | | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 59,077,600 円 | |
| 施策体系 | 施策 | 28 | 生涯スポーツの推進 | 新規事業・月夜野総合グラウンド利用者のトイレ及び更衣室設置工事 ・木造1建て、95.23㎡の建物、トイレ38.09㎡、更衣室39.76㎡ | ・周辺市町村の施設の確認実施、議会産業観光常任委員会での建物の審査を実施し、デザイン等を決定する。 ・設計の早期発注 | 事業実績 | | |
| | 基本事業 | 03 | スポーツ環境の整備 | | | 整備箇所数 | | |
| 根拠 | | 組織 | 地域整備 都市計画 G | 課長 | 古川 文雄 | 平成28年度 | 平成29年度 | 単位 |
| 事業期間 | 期間限定 | 会計 | 1 | 款 | 10 | 項 | 6 | 目 |
| | H | 29 | ～ | 1 | 年間 | | | |
| | | | | | | - | 1 | 件 |
| | | | | ・建築工事が伴うので、早期に業務の設計委託を行い、工事発注を早期に行い、年度内に建物を竣工する。 ・トイレの規模、デザインについて調査、検討が必要 | ・早期に業務委託設計書を作成し、設計業務の入札を終了する。設計を工期内に完了し、建築工事の発注を早期に実施し、年度内完成を目指す。 | | | |

